



ポップ・アート 時代を変えた4人

POP ART!

THE FAB 4!

& 4 SPECIAL

ROY LICHTENSTEIN (PART I) / ROY LICHTENSTEIN [レオ・キャステリ・ギャラリー] 1963年(部分)
 © Jose Luis Rupérez Collection © Estate of Roy Lichtenstein, New York & JASPAR, Tokyo, 2025 G4084

4.11 [土] - 6.14 [日] 2025

開館時間：9:00-17:00 (入館は閉館30分前まで)
 *6月6日(土)は19:00まで開館
 休館日：毎週月曜日(5月4日は開館)
 会場：鳥取県立美術館 3F企画展示室
 主催：ポップ・アート展実行委員会
 (鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、
 TSKさんいん中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク)
 後援：アメリカ大使館、スペイン大使館
 協力：日本航空
 協賛：エフエム山陰、宝製菓株式会社
 企画協力：ブレントラスト

鳥取県立美術館
 TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART



ロイ・リキテンスタイン《船上の少女》1965年 ©Jose Luis Rupérez Collection
©Estate of Roy Lichtenstein, New York & JASPAR, Tokyo, 2025 G4084

【関連イベント】 参加方法・詳細は公式サイトをご覧ください。

1. 特別講演会「ポップ・アートの作家たち」

多数の現代美術展を企画してきた第一人者がポップアートの意義を紐解きます。

日時：5月16日(土) 14:00-15:30
会場：美術館1Fホール
講師：南 雄介(美術評論家・元愛知県美術館長)
定員：50名(事前申込制・先着順) *聴講無料

2. 大人のミュージック・トーク

FM山陰でもお馴染みのラジオ番組「Otona no Radio Alexandria」のパーソナリティ、ロバート・ハリスさんが1960年代の音楽・カルチャーをナビゲート。

日時：4月18日(土) 14:00-15:00
集合：美術館1Fひろま
出演：ロバート・ハリス(ラジオDJ、作家)
定員：50名(事前申込制・先着順) *聴講無料

3. レコード市 in Museum

県内外の個性的な中古レコード店が美術館に集結します。
日時：6月6日(土) 11:00-19:00、6月7日(日) 11:00-16:00
会場：美術館1Fひろま

4. 夜間鑑賞+FAB4 DJタイム

展示室にDJブースが登場! 音楽に浸りながら作品鑑賞ができる特別な時間です。

日時：6月6日(土) 17:00頃開始-19:00
会場：美術館3F企画展示室 *要観覧券

5. ワークショップ「シルクスクリーンってなあに」

本展の出品作品にも使われる版画の技法を体験しよう!

日時：4月29日(水・祝) 13:30-16:00
会場：美術館1Fスタジオ2・3
対象：子どもから大人まで(小学3年生以下は保護者同伴)
定員：15組(事前申込制・先着順)
参加費：500円(材料費)

6. キュレーターズ・トーク

当館学芸員が展示会の見どころを解説します。

日時：4月25日(土)、5月30日(土) 14:00-14:45
集合：美術館1Fひろま *聴講無料



ロバート・インディアナ《LOVE》1967年 ©Jose Luis Rupérez Collection
©2025 The Robert Indiana Legacy Initiative LLC / ARS, New York / JASPAR, Tokyo G4084

POP ART: THE FAB4! & 4 SPECIAL GUESTS

世界屈指のポップ・アート・コレクション、日本初公開!

第二次世界大戦後、社会は大きく様変わりしました。大量生産・大量消費社会が到来する一方で、東西を二分する冷戦時代に突入し、1960年代にはベトナム戦争が勃発しました。こうした矛盾をはらむ社会情勢を背景にポップ・アートは誕生します。

若いアーティストたちは、世相に敏感に反応し、時事ニュースや広告、漫画のイメージを作品のモチーフにしました。日々の生活に極めて近い視点から着想された鮮やかで明快な作品は、瞬く間に人々の心を魅了し、美術の枠を超えて音楽や映画、ファッションなど文化全般に広がっていったのです。まさに「ポップ(大衆)」という言葉のとおり、ひとつのカルチャーにまで昇華したポップ・アートは今もなお影響を与え続けています。

本展では、同じ60年代に人気を博したザ・ビートルズの愛称「FAB4(The Fabulous 4=素晴らしい4人)」になぞらえ、アメリカのポップ・アートを代表する4人のスター作家、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズの版画作品を中心にポップ・アートの魅力に迫ります。日本初公開となる、スペインのホセリス・ルベレス氏の出色のポップ・アート・コレクション約120点をご堪能ください。

【観覧料】

一般1,500(1,200)円、学生950(750)円、高校生500(400)円、
小中学生300(240)円

* ()内は前売料金・20名以上の団体料金
* 未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料
* 企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

【オンラインチケット ONLINE TICKET】

2026年2月11日(水・祝)～4月10日(金)：前売料金

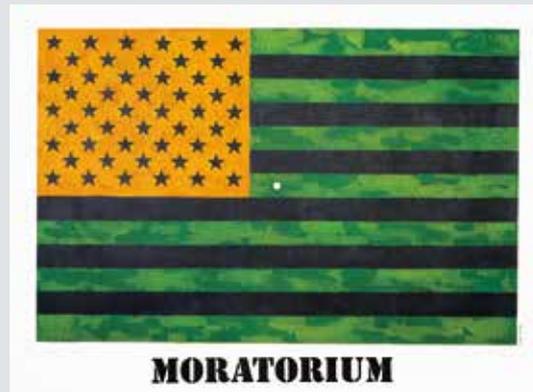
2026年4月11日(土)～6月14日(日)：通常料金

◎窓口での当日券販売もあります

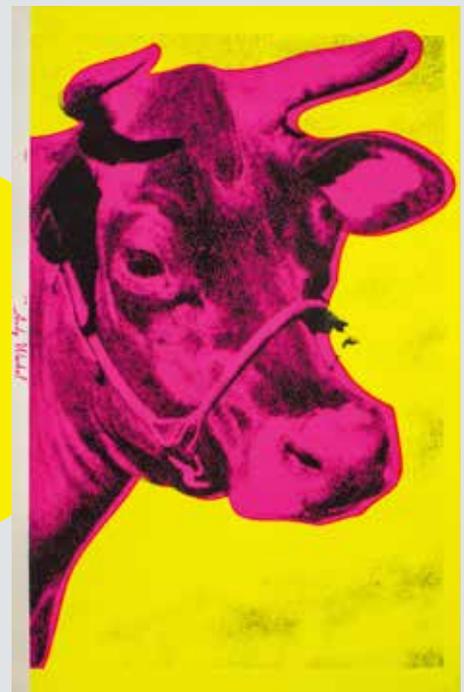
◎オンラインチケット限定

「プリロの箱 黄金のボールローネ」付き観覧券
焼き菓子ボールローネが入った可愛らしいプリロの箱
付きです!

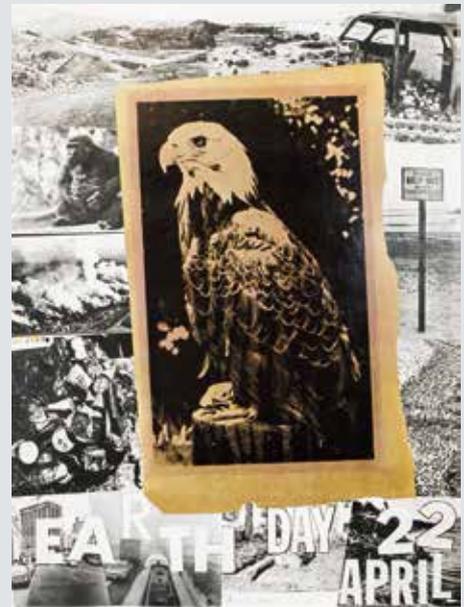
一般料金のみ販売：前売料金 1,700円 / 通常料金 2,000円



ジャスパー・ジョーンズ《モラトリアム》1969年 ©Jose Luis Rupérez Collection
©Jasper Johns / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2025 G4084



アンディ・ウォーホル《牛》1971年 ©Jose Luis Rupérez Collection
©2025 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G4084



ロバート・ラウシェンバーグ《アースデイ》1970年 ©Jose Luis Rupérez Collection
©Robert Rauschenberg Foundation / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo, 2025 G4084

【交通案内・アクセス】

【鉄道・バスの場合】

○JR倉吉駅よりバスで約10分、「県立美術館前」下車

一倉吉駅まで

○鳥取砂丘コナシ空港からバスで約45分○米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分○大阪駅からJR特急で約3時間○岡山駅からJR特急で約2時間40分

【車の場合】

○岡山・広島方面 米子道 湯原ICから約50分

○大阪方面 中国自動車道 院庄ICから約1時間

*駐車場あり(110台)



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12
TEL 0858-24-5442 https://tottori-moa.jp

